

第134回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

1 日時 令和4年6月2日（木）16:00～16:08

2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）

3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

4ページ、資料1をお願いします。

【資料1】

6月1日現在の療養者の状況です。

入院者が160人、うち重症者が0人となっております。

療養者数は、合計で1,897人となっております。

療養者数が、2,000人を下回るのは、1月27日以来となります。

次に、6ページです。

新規陽性者の状況です。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は65.62人で、5月14日以降、減少傾向が続いており、5月28日以降、100人を下回っております。

次に、8ページ、病床使用率は21.5%で、20%台で推移しております。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数です。

103.48人で、減少傾向が続いており、100人に近づいております。

次に、13ページ、保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

概ね減少傾向にあり、全ての市において100人を下回っております。

次に、14ページ、保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。

こちらも、概ね減少傾向が続いており、全ての市において100人を下回っております。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」（8.4%）、「人口10万人当たりの療養者数」（103.48人）、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」（65.62人）が、レベル3、

「病床の使用率」（21.5%）、「PCR陽性率」（8.3%）、

「感染経路不明者の割合」(54.7%)が、レベル2、
「重症者用の病床使用率」(0.0%)、こちらがレベル1となっています。
説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

17ページ、資料3をご覧ください。

【資料3】

1 接種実績につきましては、5月31日時点で、3回目接種の回数が、
1,215,589回、全人口に対する接種率は65.3%となっております。

また、一部の自治体でスタートしております4回目の接種回数は110回となっております。

資料中段の囲みの部分、5月末累計の対象者、約138万人に対する3回目の接種率は
88.1%となっています。

なお、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が33.5%、2回目が26.3%
となっております。

資料下段の「参考」につきましては、首相官邸ホームページの「3回目接種の年齢階級
別接種率の実績」の抜粋になります。80歳代を除いて、本県は全国を上回っております。

次のページをご覧ください。

本県の令和4年5月末における3回目接種対象者約138万人に対する年代別接種率
について、令和4年5月31日時点の状況を取りまとめましたのでご報告いたします。

40歳代以上では80%を超えており、特に50歳代以上ではいずれも90%以上とな
っております。

また、20歳代及び30歳代では70%台、12歳から19歳の年代では60%台の接
種率となっております。

次のページをご覧ください。

新規感染者数は全体的には減少傾向が見られますが、そのような中においても、子ども
の感染割合が高い状況が続いております。

5歳以上11歳以下のお子さんについては、ワクチン接種について御家庭で話し合うな
ど、接種を御検討いただきたいと思います。

また、12歳以上の方については、順番を迎えられた際には、3回目の接種を早期に行っていただくとともに、3回目接種を終えられた60歳以上の方につきましては、重症化予防の観点から、お住まいの市町村の案内に従って4回目の接種を行っていただきたいと考えております。

説明は以上です。

(3) その他

(金光教授)

福島県では、全体的に新規感染者数も、あるいは療養者数も、減少傾向ということで、少しずつ落ちつきつつあると思っております。

ただ、「どこまで減少させることができるのか」という問いには、なかなかお答え出来ない。未知数だと思います。

少なくとも「感染リスクはほぼない」という状態にはまだまだならないと考えております。

是非、安心して暮らせる時期が少しでも長くなるように、県民の皆様には、基本的な感染対策の遵守をしっかりとお願いしたいと思っております。

(知事)

【はじめに】

はじめに、患者さんお一人お一人に寄り添い、感染症対策や医療の現場で 献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆さんと、感染拡大を防ぐため、長期間にわたって、御理解と御協力を頂いている県民の皆さん、事業者の皆さんに、心から感謝を申し上げます。

【現状認識】

全国では、1日当たりの新規陽性者数が、2万人前後で推移しており、減少傾向にある一方で、10代以下の割合が高い状況が続いています。

本県においても新規陽性者数は、5月14日以降、19日連続で前の週の同じ曜日を下回っており、減少傾向にあるものの、10代以下の割合は依然として高い状況にあります。

【子どもの感染拡大防止重点対策について】

このため、「子どもの感染拡大防止重点対策」を6月12日まで延長し、お子さんの感染防止対策に力を入れているところであります。

先月の県内におけるクラスター91件のうち、6割を超える58件が学校や部活動、児童施設関連であり、特に、5月16日以降は、児童施設の割合が高くなっています。

小さなお子さんの場合、大人と同様の感染対策を取っていただくことは困難な面がありますので、施設の設置・管理者及び保護者の皆さんにおいては、引き続き、可能な限り、取組への御協力をお願いいたします。

【会議総括】

感染拡大を未然に防ぐためにも、お一人お一人が警戒を緩めることなく、引き続き、「子どもの感染拡大防止重点対策」や「基本対策」にしっかりと取り組んでいただくようお願いいたします。

県としても、感染症対策と社会活動・経済活動の両立に向けて、全力で取り組んでまいります。

各部局においては、引き続き、県民の皆さんの命と健康を守るため、迅速・的確に対応を進めてください。